

# 滋賀県「子どもの貧困」対策のための支援者調査

## ■ ご記入にあたってのお願い ■

- 本調査票が部署・機関（団体）に配布されている場合、貧困状況に置かれた子どもとその親に対する支援について最も関わっておられる方1名に、回答をお願いいたします。
- 本調査票が個人に配布されている場合、必ずご本人に回答をお願いいたします。
- 特にことわり書きがない限り、すべての質問にお答えください。
- お答えは、あてはまる選択肢の番号に○印をつけていただく場合と、お答えの内容を具体的にご記入いただく場合があります。
- 「その他」に○印をつけられた場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入は、黒や青のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- ご記入後、返信用封筒に入れ、11月30日（月）までにポストに入れてください。（切手不要）  
なお、返送の宛先は調査委託機関（返信用封筒に記載）となります。

## ■あなたご自身のことについてうかがいます

問1. あなたの性別はどちらですか。

1 男性

2 女性

問2. あなたはおいくつですか。

   	歳
-----------	---

問3. あなたはどの圏域（市町）で働いておられますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

なお、圏域が複数にまたがる場合は、最も長い時間働いているものに1つだけ○をつけてください。

1 湖北 （長浜市、米原市）

2 湖西 （高島市）

3 湖東 （彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）

4 東近江 （近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）

5 甲賀 （湖南市、甲賀市）

6 湖南 （草津市、守山市、栗東市、野洲市）

7 大津 （大津市）

問4. あなたが働いておられる機関はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

なお、複数ある場合は、主なものに1つだけ○をつけてください。

1 市町 母子保健担当課	7 保育所	14 小学校
2 市町 児童家庭福祉担当課 (家庭児童相談室)	8 認定こども園	15 中学校
3 市 ひとり親家庭福祉担当課	9 幼稚園	16 高等学校
4 市 生活保護担当課	10 学童保育	17 少年センター・あすくる
5 県 健康福祉事務所	11 子ども関連 NPO	18 教育相談センター
6 県 児童相談所 (子ども家庭 相談センター)	12 子育て支援センター	19 地域総合センター
	13 社会福祉協議会	20 その他 ( )

問5. あなたはどのような立場でお仕事をなさっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

なお、複数ある場合は、主なものに1つだけ○をつけてください。

1 行政職員	5 児童福祉司	10 NPO スタッフ	14 スクールソーシャル ワーカー (SSW)
2 保健師	6 臨床心理士	11 社協スタッフ	15 スクールカウンセ ラー (SC)
3 家庭児童相談員	7 保育士	12 社会福祉士	16 その他 ( )
4 母子・父子自立 支援員	8 教諭	13 精神保健福祉士	
	9 指導員		

問6. あなたは、今の職場で満何年働いておられますか。(1年未満の場合は「0年」とご記入ください。

また、SSWやSCの方は、現在、受け持っている学校のうち最も長い期間をご記入ください。)

年
---

問7. あなたは、(前の職場での経験も含めて) 現在従事している業務と同じような業務を満何年おこなっていますか。(1年未満の場合は「0年」とご記入ください。)

年
---

問8. あなたが現在、業務として担当している子どものケース数はどのくらいですか。

なお、子どもが貧困状況にあるかどうかは問いません。

1 0人 (担当していない)	2 1～20人	3 21～40人	4 41～60人
5 61～80人	6 81～100人	7 101～200人	8 200人以上
9 わからない			

■「子どもの貧困」に関する、あなたご自身のご経験についてうかがいます

問9. あなたは、どのような状況にある子どもを「貧困状況にある」と考えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どものいる世帯（以下、「世帯」という）が生活保護を受給している
- 2 世帯が児童扶養手当（ひとり親家庭に対する手当）を受給している
- 3 世帯が就学援助費（子どもの学用品費等に対する援助）を受給している
- 4 子どもが食事を十分にとれていない
- 5 子どもの教育に十分にお金がかけていない
- 6 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない
- 7 子どもが医療にかかるのを控えている
- 8 子どもの住環境が劣悪である
- 9 その他（あれば具体的に： \_\_\_\_\_）
- 10 わからない

問10. これまでのあなたのご経験から見て、貧困状況にある子どもは、併せてどのような状況にあることがよくあるでしょうか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 両親が不仲である	13 学校や職場に友人がいない
2 ひとり親家庭である	14 学校や職場でいじめを受けている
3 家庭が地域から孤立している	15 不登校を経験している
4 親から必要以上に干渉されている	16 学校を中退している
5 親から過度の期待をかけられている	17 進学を断念している
6 親から放任（ネグレクト）されている	18 就職後1年以内に離職している
7 親から身体的虐待を受けている	19 自傷行為をしたことがある
8 親から心理的虐待を受けている	20 DVを含む家庭内暴力がある
9 親から性的虐待を受けている	21 非行や非行につながる問題行動がある
10 親が家庭を顧みていない	22 その他（具体的に： _____）
11 引越しや転校が多い	23 わからない
12 学校の授業が理解できていない	

問11. あなたのこれまでのご経験から見て、貧困状況にある子どもはどのような項目において欠如が見られると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 読み書き・計算などの基礎的な学力	9 周囲からの評価への適切な反応
2 こころの状態の安定性・心身の健康	10 認知（ものの見方・考え方・価値観）
3 健全な生活習慣・食習慣	11 生活自立能力
4 コミュニケーション能力	12 意欲・チャレンジ精神
5 他者への共感性	13 その他（具体的に： _____）
6 他者への信頼感	14 わからない
7 自己表現力	15 特に欠如は見られない
8 自己肯定感・自尊心	

問12. この設問は、『あなたの所属する機関』の支援の取り組みについておたずねするものです。

あなたの所属する機関では、貧困状況にある子どもや親に対し、どのような支援を行っていますか。次の(a)から(k)について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

※所属する機関で該当しない支援については、「5 該当せず」に○をつけてください。

	よく行っている (週に一回以上)	時々行っている (月に一〜数回程度)	ほとんど行っていない (年に一〜数回程度)	まったく行っていない	該当せず (所属機関では 実施できない等)
(a) 家庭訪問	1	2	3	4	5
(b) 居場所 (遊びや読書等の場) の提供	1	2	3	4	5
(c) 食事の提供	1	2	3	4	5
(d) 相談 (育児、発達、教育、生活相談など)	1	2	3	4	5
(e) 乳幼児健康診査、予防注射等の勧め・受付	1	2	3	4	5
(f) 親子教室の開催	1	2	3	4	5
(g) 経済支援 (就学援助費、児童扶養手当など) の勧め・受付	1	2	3	4	5
(h) 学習支援	1	2	3	4	5
(i) 進学指導	1	2	3	4	5
(j) 就労支援	1	2	3	4	5
(k) その他 (あれば具体的に: )	1	2	3		

設問が続きます。  
そのまま回答を続けて下さい。  
よろしくお願いします！



問13. あなたは普段、他の部署・機関の人と、貧困状況にある子どもについて情報をやり取りする機会がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>
よくある (週1回以上)	ときどきある (月1～数回程度)	ほとんどない (年に1～数回程度)	まったくない

問13-1へ

問14.へ(次ページ)

問13-1 問13.で「1 よくある」または「2 ときどきある」とお答えした方のみにおたずねします。

どの部署・機関の人とどのような機会<sup>①</sup>で情報をやり取りすることが多いですか。

次の(a)から(t)について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

※やり取りがない部署・機関については、「6 この部署・機関とやり取りがない」に○をつけてください。

	通常の業務	連絡会議や協議会などの会合	その他の会合	個人的な付き合い	その他	この部署・機関とやり取りがない
(a) 市町 母子保健担当課	1	2	3	4	5	6
(b) 市町 児童家庭福祉担当課(家庭児童相談室)	1	2	3	4	5	6
(c) 市 ひとり親家庭福祉担当課	1	2	3	4	5	6
(d) 市 生活保護担当課	1	2	3	4	5	6
(e) 県 健康福祉事務所	1	2	3	4	5	6
(f) 県 児童相談所(子ども家庭相談センター)	1	2	3	4	5	6
(g) 保育所	1	2	3	4	5	6
(h) 認定こども園	1	2	3	4	5	6
(i) 幼稚園	1	2	3	4	5	6
(j) 学童保育	1	2	3	4	5	6
(k) 子ども関連 NPO	1	2	3	4	5	6
(l) 子育て支援センター	1	2	3	4	5	6
(m) 社会福祉協議会	1	2	3	4	5	6
(n) 小学校	1	2	3	4	5	6
(o) 中学校	1	2	3	4	5	6
(p) 高等学校	1	2	3	4	5	6
(q) 少年センター・あすくる	1	2	3	4	5	6
(r) 教育相談センター	1	2	3	4	5	6
(s) 地域総合センター	1	2	3	4	5	6
(t) その他(あれば具体的に: )	1	2	3	4	5	

問14. あなたは、他の機関で受けられるサービスを、貧困状況にある家庭に対し紹介することがあります  
か。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4
よくある (週1回以上)	ときどきある (月1~数回程度)	ほとんどない (年に1~数回程度)	まったくない

問14-1へ

問14-2へ

問14-1 問14で「1 よくある」、「2 ときどきある」とお答えした方のみにおたずねします。

どの機関で受けられるサービスを紹介することが多いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 市町 母子保健担当課	7 保育所	14 小学校
2 市町 児童家庭福祉担当課 (家庭児童相談室)	8 認定こども園	15 中学校
3 市 ひとり親家庭福祉担当課	9 幼稚園	16 高等学校
4 市 生活保護担当課	10 学童保育	17 少年センター・あすくる
5 県 健康福祉事務所	11 子ども関連NPO	18 教育相談センター
6 県 児童相談所(子ども家庭 相談センター)	12 子育て支援センター	19 地域総合センター
	13 社会福祉協議会	20 その他 ( )

問14-2 問14で「3 ほとんどない」、「4 まったくない」とお答えした方のみにおたずねします。

他の機関で受けられるサービスを紹介しない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自分の所属する機関で対応可能であるため
- 2 他の機関と連携がとれていないため
- 3 他の機関で受けられるサービスについての知識・情報がないため
- 4 職場に、紹介をためらわせる風土・雰囲気があるため
- 5 たらい回しにするようのためられるため
- 6 忙しくて時間が足りないため
- 7 なんとなく
- 8 その他(あれば具体的に: )

問15. あなたは、貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。  
もっともあてはまる番号1つだけに○をつけてください。

- 1 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい
- 2 子どもとの関わり方が難しい
- 3 支援に用いることができる制度(資源)が少ない
- 4 支援者間での連携が難しい
- 5 その他(あれば具体的に: )
- 6 特にない
- 7 わからない

**問16.** あなたは、(自分が所属する機関で実際に取り組まれている支援いかにかわらず) 一般的に、貧困状況に置かれた子どもや親に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。特に必要だと思う番号3つに、○をつけてください。

- 1 経済的支援
- 2 相談担当者の質的向上
- 3 相談担当者の増員
- 4 総合相談窓口の設定
- 5 訪問による早期発見や生活支援
- 6 保育サービスの提供 (病児保育、送迎支援等も含む)
- 7 子どもの居場所 (遊び・読書等の場) の提供
- 8 学校での専門家 (SSW 等) による支援
- 9 子どもへの学校以外での学習機会の提供
- 10 子どもへの文化的活動 (自然体験学習、スポーツ等) の機会の提供
- 11 子どもへの食事の提供
- 12 親の就労の支援
- 13 親の受診勧奨
- 14 子どもの進学・就労の支援
- 15 その他 (あれば具体的に: \_\_\_\_\_ )
- 16 わからない

**問17.** あなたは、貧困状況にある家庭への支援に関して、どのような改善が必要だと思いますか。自由に記述してください。

**■あなたご自身の働き方や職場環境についてうかがいます**

**問18.** あなたは、貧困家庭への支援において、ご自身の業務が必要だと感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4	5
強く 感じている	やや 感じている	どちらとも いえない	あまり 感じていない	まったく 感じていない

問19. あなたは、貧困家庭への支援に対するご自身の熟達の程度をどのくらいだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4	5
非常に熟達している	やや熟達している	どちらともいえない	あまり熟達していない	まったく熟達していない

問20. あなたは、貧困家庭への支援における問題について、困ったり、悩んだりした場合、どれくらいの頻度で職場の人に相談をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4
よくしている (週1回以上)	ときどきしている (月1～数回程度)	ほとんどない (年に1～数回程度)	まったくしていない

問21. あなたは、貧困家庭への支援における問題について、どれくらいの頻度で職場の人に意見を述べたり、積極的な提案をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4
よくしている (週1回以上)	ときどきしている (月1～数回程度)	ほとんどない (年に1～数回程度)	まったくしていない

問22. あなたは、貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることはありますか。自由に記述してください。

問23. あなたのこれまでのご経験の中で、子どもの貧困の状況が改善に向かったケースがあれば、そのケースにおいて改善に向かった背景や要因について自由に記述してください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

同封の返信用封筒に入れて、11月30日(月)までにご投函ください。